

# 今昔洗濯物語～小豆の巻～

## 研究内容

昔の日本で洗剤の代わりとして利用されていた小豆と、現代にある洗剤で汚れの落ち具合を比較する。

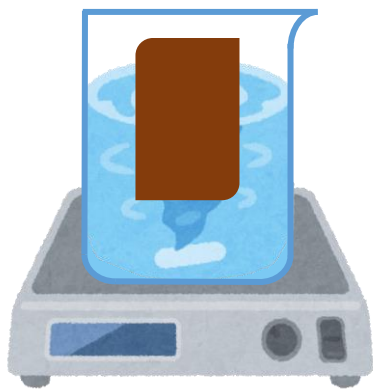
## 実験方法

**実験①** ホットスターラーを用いた回転洗浄

洗浄液で15分間洗浄



水道水で10分濯ぎ洗い



**実験②** ペットボトルを用いた手動洗浄

洗浄液で15分間洗浄



水道水で10分濯ぎ洗い



## 各種洗浄液



## 洗浄度の式

(反射度) = r

$$(\text{洗浄度}) = \frac{r(\text{洗浄前}) - r(\text{洗浄後})}{r(\text{汚れなし}) - r(\text{洗浄前})}$$



←カラーアナライザー

## 結果

### 実験①



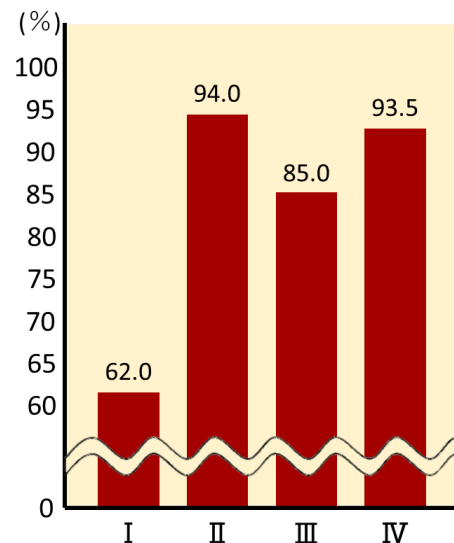
洗浄前の布



← I の布



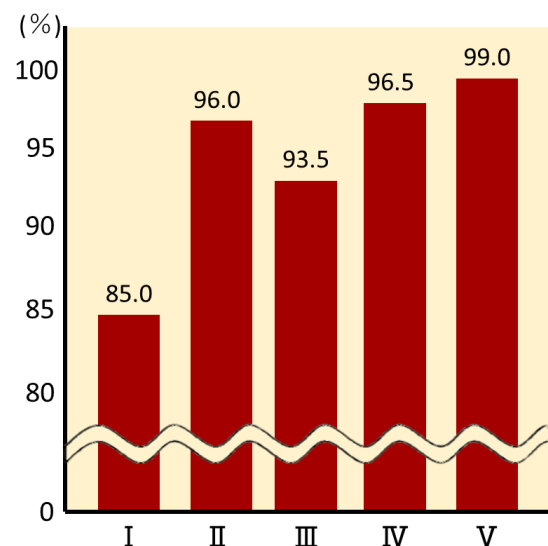
IVの布→



### 実験②



Vの布



## 考察

①のIIでは小豆を砕いたことにより効率よく成分が抽出できた。

②のVでは化学的洗浄と物理的洗浄が同時に行われたため高い洗浄効果を示された。

## 参考文献

「江戸時代の洗濯を知る」  
<https://lidea.today/articles/002178>

